

実績と経験に基づく信頼ある結果を報告します！

事業登録

- 計量証明事業：
 - 大阪府知事登録 第 10035 号（濃度）
 - 第 10036 号（音圧レベル）
 - 第 10224 号（振動加速度レベル）
 - 第 10337 号（特定濃度）
- 作業環境測定機関：大阪労働局（登録）27-18
- 建築物飲料水水質検査業：大阪府 4 水第 10-3 号
- 建築物空気環境測定業：大阪府 4 空第 10-3 号
- 簡易専用水道検査機関：厚生労働大臣（登録）第 19 号
- 水質検査機関登録：厚生労働大臣（登録）第 264 号
- 建設コンサルタント：建 05 第 7783 号
- 土壌汚染対策法に基づく指定調査機関：2003-5-2014
- 特定計量証明事業者認定（MLAP）：N-0080-01
- JNLA 登録事業者（浸出性能試験）：登録番号 130342JP
- 公益社団法人日本水道協会 品質認証センター委託試験所
- 公益社団法人日本下水道協会
ディスポーザー排水処理システムの規格性能試験機関

職員の主な有資格

- 技術士（建設分野）
- 技術士補
- 環境計量士（濃度・騒音振動）
- 公害防止管理者（大気・水質・騒音振動・一般粉じん・ダイオキシン類）
- 土壌汚染調査技術管理者
- 土壌環境リスク管理者
- 第1種作業環境測定士（粉じん・金属・有機・特化）
- 第2種作業環境測定士
- RCCM（建設環境）
- 建築物石綿含有建材調査者
- 環境大気常時監視技術者（主任・専門）
- 空気環境測定実施者
- 臭気判定士
- 第2種酸素欠乏危険作業主任者
- 毒物劇物取扱者
- 危険物取扱者
- 測量士補
- 環境測定分析士2級（第4分野）
- PCB 調査士

通巻 159 号 “EMATEC 70 号”
発行日 令和 5 年 12 月 20 日
発行 一般財団法人関西環境管理技術センター
〒 550-0021
大阪府大阪市西区川口 2 丁目 9 番 10 号
発行人 小林 啓
編集 環境情報誌 EMATEC 編集委員会
印刷 株式会社ケーエスアイ
TEL：06（6652）8888 FAX：06（6652）8484

事業一覧

- ◆**環境調査（測定・分析）業務**
 - 大気質、水質、騒音、振動、臭気、底質等の調査
 - 土壌汚染（土汚染対策法等）の調査・分析
 - 絶縁油中の PCB 分析、石綿（アスベスト）の調査
 - 排出ガス調査（ダスト、NOx、SOx、ダイオキシン類、水銀等）
 - 廃棄物の有害物質等の分析
 - 微量化学物質（ダイオキシン類、環境ホルモン）の調査
 - 室内空気環境測定
 - 生活排水の調査、河川、湖沼、海域の富栄養化調査
 - 一般廃棄物の組成分析・実態調査、廃棄物処理処分に関する調査
 - 生物調査（陸生、水生）、気象（地上、中高層）の観測

- ◆**検査・評価業務**
 - 飲料水、簡易専用水道、水道用器具（給水装置・資機材等）
浸出性能試験
 - 空気環境、作業環境測定、放射能による表面非汚染検査
 - 光触媒材料の空気浄化性能試験
 - ディスポーザ排水処理システム規格適合試験

- ◆**環境監視業務（アセスメント事後監視等）**
 - 環境監視システムの企画・設計・構築～構築後の運営・管理～
 - 大気質、気象、騒音等自動測定機器の選定・設置～設置後の
維持管理～
 - 大気質、気象、騒音等測定データの処理・解析
 - 河川環境（水質、底質、生物、流量）のモニタリング
 - 水質自動測定機器の保守管理

- ◆**環境アセスメント、地域整備計画の企画・立案業務**
 - 環境アセスメント・予測計算・解析（大気質、水質、騒音等）
 - 廃棄物処理施設に関する生活環境影響調査
 - 工業団地、住宅団地、大型店舗の立地に関する手続き及び
アセスメント
 - 環境保全・環境計画の策定、都市開発・開発計画等に伴う
環境調査の企画・立案

- ◆**コンサルティング業務**
 - 土壌汚染対策に関するコンサルティング
 - 廃棄物処理基本計画、処理施設の整備に関するコンサルティング
 - リサイクル技術に関するコンサルティング
 - 助成事業等への共同提案・支援
 - 環境管理業務サポート事業

- ◆**環境に関する支援・啓発事業（公益活動）**
 - 環境相談（無料）窓口の運営
 - JICA、大学等からの研修生受け入れ
 - 環境情報誌「EMATEC」の発行
 - 環境に関するセミナー等の開催
 - 各種審議会、セミナー、環境学習活動への委員・講師派遣

一般財団法人 関西環境管理技術センターは、美しく豊かな環境を未来へ引き継ぐため、1972 年に大阪通商産業局（現 近畿経済産業局）、大阪府、大阪市並びに大阪商工会議所をはじめとする関西の経済団体によって設立された総合的な環境管理技術機関です。

中立公正な立場で調査、分析、コンサルティング等を行い、環境にやさしく安心・安全な生活環境並びに豊かな自然環境の保全と創造を図り、もって経済社会の健全なる発展と地域社会の向上に寄与することを目的としています。

当センターでは、このような設立目的を踏まえ、的確な環境情報の普及に努めるために、公益事業活動の一環として「環境情報誌 EMATEC」を定期的（年 2 回）に発行し、関西地域を中心に広く産学官の環境担当機関に無償配布を行っています。

目次

官公庁情報 豊かで美しいひょうごの海の実現に向けて

兵庫県 環境部水大気課里海再生班

加茂 慎 …… 1

大阪市の水環境に係る啓発事業について

大阪市 環境局 環境管理部 環境管理課

水環境保全グループ

高木 慶大 …… 7

特別寄稿 琵琶湖環境の変遷と課題

立命館大学・生命科学部 教授

久保 幹 …… 11

EMATEC トピックス …… 15

【表紙写真】

有田川町のシンボルとも言える景観、あらぎ島（あらぎじま）。

日本の棚田百選に選ばれ、2013 年には周囲の景観とともに「蘭島及び三田・清水の農山村景観」として国の重要文化的景観に選定されています。

四季折々に美しく変わる風景がみどころで、写真愛好家にも有名なスポットとなっています。

●あらぎ島の地名の由来

あらぎ島は地元では単に「島」と呼ばれています。古くから川沿いの耕地を「島」と呼ぶことがあり、蘭島はまさに「島」と呼ぶにふさわしい場所です。「蘭」については、江戸時代の文化 7 年（1810）に著された『山保田続風土記』という書物の中に、「蘭」に「アララギ」とふりがなが振られており、「蘭」は本来「アララギ」と呼ばれていたと考えられます。「蘭」の解釈については、主に次の 3 つの説がありますが、定説はありません。

「アララギ」とは「イチイ」の別称であることから、イチイの木を指すとする説

「アララギ」とは「ノビル」の古名であることから、もとは野草のノビルが群生していたと考える説

新しく開墾した土地として、全国に地名が残る「あらき」から転じたと考える説

（有田川町ホームページ参照）